



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社新潟放送 上場取引所 東
 コード番号 9408 URL http://www.ohbsn.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹石松次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 赤塚幸 TEL 025-267-4111
 02四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,167	△5.0	276	△7.2	291	△9.4	132	27.3
26年3月期第2四半期	9,649	3.7	297	-	321	-	104	-

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 237百万円 (106.8%) 26年3月期第2四半期 115百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.16	-
26年3月期第2四半期	17.41	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	20,822	13,834	59.8	2,074.85
26年3月期	21,703	13,628	56.3	2,038.18

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,447百万円 26年3月期 12,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	3.75	-	3.75	7.50
27年3月期	-	3.75	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,013	△5.4	927	△10.1	934	△11.2	477	△45.2	79.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）- 、 除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	6,000,000株	26年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	794株	26年3月期	744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	5,999,234株	26年3月期2Q	5,999,323株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,860	2.0	575	△14.3	340	—	56.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. (参考) 個別業績の概要	11
(1) 個別経営成績	11
(2) 個別財政状態	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などにより期前半は企業収益、個人消費ともに足踏み状態が続きました。その後は緩やかな回復傾向が見られたものの、企業の設備投資の鈍化、業種によっては個人消費の落ち込みが続くなど、楽観視できない状況で推移しました。

放送業界におきましては、駆け込み需要の反動による影響は期半ばから徐々に和らぎ、収益の柱となるテレビスポット広告の出稿量は概ねプラス基調で推移しました。また、情報サービス業界におきましては、ウィンドウズXPサポート終了の買い換え需要が続くなどプラス要因もありましたが、業界内の競争激化による価格低下など、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は91億6千7百万円（前年同期比95.0%）となり、4億8千2百万円の減収となりました。また、徹底したコストの削減を図り収益の確保に全力を傾けた結果、利益面におきましては、営業利益は2億7千6百万円（前年同期比92.8%）、経常利益は2億9千1百万円（前年同期比90.6%）、四半期純利益は1億3千2百万円（前年同期比127.3%）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

[放送事業]

放送事業におきまして、ラジオ収入は、毎週土曜日の午後に新番組をスタートさせたことや県内各地での公開生放送に積極的に取り組んだことで制作収入が大きく伸び、回復の兆しが見られました。また、テレビ収入は、収益の柱であるスポット広告の出稿が首都圏のスポンサーを中心に比較的好調に推移したことや県内においても新規スポンサーを獲得できたことなどから前年同期を上回りました。その他の部門の収入は、毎年恒例のプロ野球公式戦や新潟市のスケートリンクでのスケートフェスティバルを開催するなど多岐にわたるスポーツイベントを実施したものの、前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は34億2千2百万円（前期比100.7%）となり、営業利益では2億7千3百万円（前年同期比101.0%）となりました。

[情報処理サービス事業]

情報処理サービス事業におきましては、企業によるIT投資は依然として抑制傾向にありますが、積極的な営業活動により民間企業向けのソフト開発や医療機関向けの電子カルテルシステム販売により売上はほぼ前年同期並みとなりました。一方、地方公共団体向け委託業務の一部が終了したことやクラウドサービス強化のための投資に伴うコスト増等により利益面では損失計上となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は53億6千4百万円（前期比99.4%）となり、営業損益では1千7百万円の損失計上（前年同期は2千万円の利益計上）となりました。

[建物サービスその他事業]

建物サービスその他事業におきましては、新設した営業課が積極的なセールスを展開したことで、広告代理業務などの取扱額が前年同期を上回りました。一方、不動産部門では、土地の売却やテナントの退去などにより家賃収入が減少しました。施設管理部門では、ビル管理業務の新規受注があったものの、予定していたビル改修工事の中止などによりほぼ前年同期並みになりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は6億7千5百万円（前期比98.0%）となり、営業利益では2千万円（前年同期比49.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

(財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は208億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億8千1百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が92億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千5百万円減少しております。これは主に現金及び預金が9億9千8百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が18億4千8百万円減少したことなどによります。固定資産では、115億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億9千6百万円の減少となりました。これは主に投資その他の資産が2億6千7百万円増加したものの、有形固定資産が4億5千6百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債が46億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億4千4百万円減少しております。これは主に未払金で5億5千6百万円、短期借入金で1億6百万円減少したことによるものであります。固定負債は23億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億4千2百万円の減少となりました。これは主に長期借入金で1億3千5百万円、退職給付に係る負債が1億9千3百万円減少したことによります。

純資産の部では、利益剰余金の増加1億1千万円、その他有価証券評価差額金の増加4千1百万円、退職給付に係る調整累計額の増加6千8百万円、少数株主持分の減少1千4百万円により138億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億5百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は59.8%となり、前連結会計年度末に比べて3.5ポイント増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9億6千8百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には42億7千9百万円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得た資金は17億6千4百万円となりました。主な要因といたしましては、たな卸資産の増加4億5千8百万円、仕入債務の減少2億4百万円、その他の負債の減少2億7千4百万円などによるキャッシュ・アウトはありましたが、税金等調整前当期純利益2億8百万円、減価償却費5億4千万円、売上債権の減少18億4千8百万円、その他の資産の減少2億6千5百万円などのキャッシュ・インによるものであります。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は2億8千9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却収入3億1百万円などによるキャッシュ・インはありましたが、有形固定資産の取得2億1千9百万円、無形固定資産の取得1億9百万円、投資有価証券の取得3億2百万円などのキャッシュ・アウトなどによるものであります。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は5億6百万円となりました。これは、主に短期借入金の減少1億4百万円、長期借入金の返済1億3千7百万円、リース債務の返済2億3千万円のキャッシュ・アウトなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

これからの見通しにつきましては、放送事業におけるテレビスポット広告の動向及び情報処理サービス事業における売上の動向が不透明ではありますが、当社グループでは、各事業部門において今まで以上に積極的、かつ、きめ細かな営業活動とサービスの提供に努めると共に、引き続きさらなるコスト削減を図り、収益の確保に努めてまいります。

以上の見通し及び方針に基づき、連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表しました「平成27年3月期の通期業績予想」を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,246,845	4,245,303
受取手形及び売掛金	5,049,413	3,201,234
有価証券	286,280	226,336
商品	91,185	243,900
原材料	12,855	65,769
仕掛品	194,105	447,458
繰延税金資産	388,302	400,125
その他の流動資産	723,333	470,523
貸倒引当金	△14,607	△8,288
流動資産合計	9,977,714	9,292,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,049,007	2,681,136
土地	2,227,123	2,171,470
リース資産（純額）	1,404,971	1,394,887
その他（純額）	927,576	904,958
有形固定資産合計	7,608,678	7,152,453
無形固定資産	722,878	715,084
投資その他の資産		
投資有価証券	2,005,766	2,371,020
繰延税金資産	804,919	744,531
その他の投資及びその他の資産	625,068	587,910
貸倒引当金	△41,234	△41,037
投資その他の資産合計	3,394,519	3,662,425
固定資産合計	11,726,077	11,529,963
資産合計	21,703,791	20,822,326

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	2,883,045	2,327,004
短期借入金	1,011,340	904,940
賞与引当金	422,778	495,710
その他の引当金	62,100	13,990
その他の流動負債	910,483	903,449
流動負債合計	5,289,747	4,645,093
固定負債		
長期借入金	1,024,710	889,190
役員退職慰労引当金	292,500	223,749
その他の引当金	118,318	113,403
退職給付に係る負債	295,294	101,795
リース債務	1,035,320	1,004,479
その他の固定負債	18,917	10,185
固定負債合計	2,785,060	2,342,803
負債合計	8,074,807	6,987,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	12,292,921	12,403,387
自己株式	△499	△524
株主資本合計	12,598,172	12,708,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,553	67,641
退職給付に係る調整累計額	△397,165	△328,814
その他の包括利益累計額合計	△370,611	△261,173
少数株主持分	1,401,422	1,386,988
純資産合計	13,628,983	13,834,429
負債純資産合計	21,703,791	20,822,326

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	9,649,956	9,167,483
売上原価	6,891,695	6,534,142
売上総利益	2,758,260	2,633,340
販売費及び一般管理費	2,460,544	2,357,081
営業利益	297,716	276,259
営業外収益		
受取利息	1,680	2,108
受取配当金	25,153	26,496
受取賃貸料	5,503	5,692
その他	13,482	7,876
営業外収益合計	45,819	42,175
営業外費用		
支払利息	17,373	16,687
その他	4,470	10,249
営業外費用合計	21,844	26,936
経常利益	321,691	291,497
特別利益		
固定資産売却益	—	146,505
固定資産受贈益	34,303	—
投資有価証券売却益	5,275	—
その他	67	—
特別利益合計	39,646	146,505
特別損失		
固定資産売却損	—	126,582
減損損失	—	79,952
固定資産除却損	6,015	2,247
固定資産処分損	63,122	—
会員権評価損	—	19,492
アナログ放送設備解体引当金繰入額	17,210	—
その他	1,012	1,157
特別損失合計	87,359	229,432
税金等調整前四半期純利益	273,978	208,570
法人税等	165,893	80,029
少数株主損益調整前四半期純利益	108,085	128,540
少数株主利益又は少数株主損失（△）	3,621	△4,422
四半期純利益	104,463	132,963

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,085	128,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,973	41,106
退職給付に係る調整額	—	68,350
その他の包括利益合計	6,973	109,456
四半期包括利益	115,058	237,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,565	242,402
少数株主に係る四半期包括利益	3,492	△4,405

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	273,978	208,570
減価償却費	495,990	540,828
減損損失	—	79,952
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△30,210
賞与引当金の増減額(△は減少)	43,060	55,032
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16,371	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,222	△68,750
アナログ放送設備解体引当金の増減額(△は減少)	6,937	△4,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,715	△6,516
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△87,693
受取利息及び受取配当金	△26,833	△28,605
支払利息	17,373	16,687
固定資産除却損	6,015	2,247
固定資産売却損益(△は益)	123	△19,922
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,275	—
投資有価証券評価損益(△は益)	627	709
会員権評価損	—	19,492
売上債権の増減額(△は増加)	1,703,824	1,848,178
たな卸資産の増減額(△は増加)	△690,942	△458,982
その他の資産の増減額(△は増加)	△58,892	265,937
仕入債務の増減額(△は減少)	157,153	△204,654
その他の負債の増減額(△は減少)	△306,736	△274,815
小計	1,575,095	1,852,570
利息及び配当金の受取額	26,833	28,605
利息の支払額	△19,012	△16,545
法人税等の支払額	△150,476	△99,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,432,440	1,764,668
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△162,200	△192,000
定期預金の払戻による収入	162,000	162,000
有価証券の売却による収入	20,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△268,259	△219,830
有形固定資産の売却による収入	—	301,260
無形固定資産の取得による支出	△270,153	△109,997
投資有価証券の取得による支出	△31,671	△302,740
投資有価証券の売却による収入	14,764	407
差入保証金の差入による支出	△1,676	△2,168
差入保証金の回収による収入	24,925	3,139
その他の支出	△5,961	△5,499
その他の収入	2,411	15,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515,820	△289,616

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	15,000	△104,000
長期借入金の返済による支出	△157,920	△137,920
リース債務の返済による支出	△226,901	△230,965
自己株式の取得による支出	△29	△24
配当金の支払額	△29,800	△23,599
少数株主への配当金の支払額	△10,029	△10,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△409,680	△506,538
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	506,938	968,513
現金及び現金同等物の期首残高	3,237,439	3,311,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,744,378	4,279,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	ホテル及び 飲食事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,331,283	5,357,877	510,833	449,961	9,649,956	—	9,649,956
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	66,954	37,949	12,083	239,023	356,010	△356,010	—
計	3,398,238	5,395,827	522,916	688,984	10,005,967	△356,010	9,649,956
セグメント利益又は損失 (△)	271,288	20,949	△37,366	41,953	296,824	891	297,716

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サ ービス事業	建物サービ スその他事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,383,930	5,308,121	475,431	9,167,483	—	9,167,483
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	38,767	56,570	199,730	295,068	△295,068	—
計	3,422,698	5,364,691	675,161	9,462,551	△295,068	9,167,483
セグメント利益又は損失 (△)	273,347	△17,620	20,629	276,356	△97	276,259

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「放送事業」セグメントにおいて79百万円の固定資産減損損失を計上しております。

5.（参考）個別業績の概要

（1）個別経営成績

平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,422	0.7	273	1.0	319	0.2	213	122.4
26年3月期第2四半期	3,398	3.5	270	130.3	318	98.8	96	14.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	35.60	—
26年3月期第2四半期	16.01	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
27年3月期第2四半期	11,754	9,691
26年3月期	11,383	9,459